

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|---------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境 ・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 7 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | 2 | | 送迎時に余裕がない。学校に待機をしてもらっている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 2 | 3 | 2 | 現在車イス等が必要な利用者はいない為、バリアフリー化の必要はないが、段差はある。 |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 3 | 4 | | 行っているが、改善が必要だと感じる。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 7 | | | 保護者同士で関わる機会を設けている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 6 | 1 | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 4 | 1 | 2 | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 7 | | | 社内、社外の研修が多い。 |
| 適切 な き | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | | 2 | ・行っているが、改善が必要だと感じる。 ・現在、話し合ってからアセスメントしている。今後、標準化されたツールを使用したい。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 6 | 1 | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 7 | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 7 | | | |

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|--|--------------------------|--|----|---------------|-----|--|
| 援 の 提 供 | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | 1 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 2 | 4 | 1 | イベント時や特記事項がある際には行っているが、毎回行っていない、もっと打ち合わせの機会を作っていきたい。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 5 | | 特記事項がある際に行っている。もっと回数を増やしたい。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | 1 | | 個別記録に記入し、全体周知を行っている。 |
| | 18 | 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | 1 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 6 | 1 | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 7 | | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 7 | | | |
| | 22 | （医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 3 | 3 | | ケアが必要な利用者がいない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 6 | 1 | | 系列の事業所と連携して支援方針を考えている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 5 | 2 | | 必要があれば行っていく。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 5 | 1 | 1 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2 | 2 | 3 | 時節柄難しい為、感染症が落ち着いたら行っていきたい。 |
| 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | | 3 | | |

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|--|----|---|----|---------------|-----|--------------------------------------|
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか | 7 | | | 連絡帳や送迎時に情報共有している。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか | 3 | | 4 | |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか | 7 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている か | 6 | 1 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか | 5 | 1 | 1 | 保護者が集まるイベントを開催した。今 後は機会を増やしていきたい。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか | 7 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか | 7 | | | |
| | 35 | 個人情報の取り扱いに十分注意しているか | 7 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか | 7 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか | 3 | 1 | 3 | 夏のイベントでは地域のお祭りに参加し た。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護 者に周知しているか | 6 | | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか | 7 | | | |

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|-----------------|----|---|----|---------------|-----|-------------------------------|
| 非常時 等の 対応 | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 7 | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 6 | 1 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 5 | 2 | | 食レク時に保護者へ材料一覧と同意書を記入してもらっている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 7 | | | |